
偽イソップ寓話

すいみー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

偽イソップ寓話

【Nコード】

N8278P

【作者名】

すいみー

【あらすじ】

偽イソップ寓話です。

星新一のようにはいきませんが（笑）

北風と太陽

北風さんと太陽さんはケンカばかりしていた。

ケンカの原因はいつも、どちらが強いのかということ。

今までも、数え切れないほどケンカをしてきたが、太陽さんの全勝服脱がしの勝負をすると、北風さんの風よりも、太陽さんの暑さで旅人は服を脱ぎ、太陽さん勝ち。

かけっこをすると、一日で地球を一周するという圧倒的な速さで、太陽さんの勝ち……。

麻雀をすると、北風さんの手牌はすべて倒れてバレてしまうので、太陽さんの勝ち……。

力比べのルールは自然と決まる。

「あすこに学校がある。今回の勝負は、校舎から子ども達を多く出せた方の勝ちにしようじゃあないか」

「よしならば僕から行こう」

太陽さんは自信満々に答えた。

今まで負けたことがないのだ、今回も勝つに決まっている。

北風さんが天高くに隠れると、太陽さんは学校の真上に顔を出し、さんさんと校庭を照らした。

「よしよし、これで元気な子ども達は校舎から出てきて遊び始めるはずだ」

しかし、どんなに照らしても子どもは少ししか出てこない。

どうにもおかしい。太陽さんが校舎をのぞくと、子ども達はクーラーのついた教室ではしゃぎ回っている。

どんなに天気がよかろうと、クーラーの涼しさを知った子ども達が、暑いのに外に出たがるわけがない。

太陽さんは諦め、

「この勝負はお互い無理だよ、君。現代の子ども達は快適に遊ぶ方が好きなんだ。出てきやしっこない」

太陽さんが雲の中に隠れると、天高くから北風さんが舞い降りてきた。

そうかい、それでも僕はやるよ。北風さんは大きく息を吸い、吐いた。

北風さんの起こした風は、校庭の砂を巻き上げ、校舎の窓をガタガタ震えさせた。

子ども達は、なんだなんだと窓に顔を近づけ、外をのぞいた。

「うわあ、すげえぞ！ あんな強い風だと、空も飛べそうだ！」

子ども達は一斉に駆け出すと、先生の止める声も聞かず、校舎を飛び出した。

そうするとあっという間に、校庭には学校中の子どもであふれた。

「ほら、どうだい太陽さん。子ども達を全員外に出してみせたよ」

呆然とする太陽さんに北風さんはくっくと笑って言った。

「今回は私の勝ちだね」

走る子ども、飛ぼうとする子ども、風に打たれ楽しむ子ども。

そう、子どもというのは快適な空間よりもなによりも、危険なことが一番好きなのだ。

北風と太陽（後書き）

相手も変われば結果だって変わる。太陽さん、くやしがることはない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8278p/>

偽イソップ寓話

2011年1月4日03時06分発行